



いちごがとれるまでどんな作業をしているのか？



1 おやかぶ から こなえ ぶ を 増 や す

いちごは、種ではなく苗で増やします。

4月から6月にかけて、親株を植えて子苗を増やします。1株の親株から約30本の苗をとります。

親株からでてきた子苗は親株から水分と養分をもらいながら生長します。



じどくいぶょう
地床育苗



くうちゅうさいびょうほうしき
空中採苗方式

2 育苗（苗を育てる）

7月中旬に子苗と親株をきりはなし、ポットなどに植えかえて苗を育てます。

作り方によっては、8月から9月にかけて花芽分化を早めるための処理をします。

※いちご生産の工夫の夜冷処理の紹介も参考にしてください。



なえ そだ ようす
苗を育てている様子

3 ハウスに植える

9月上旬から中旬にかけてハウスに植えます。ハウス内は高さ30cm程度の高いベッドをつくり（写真）、そこに2列に植えます。

10a（1000㎡）あたり7000本程度植えます。



ていしょくご
定植後のハウス内

4 ハウスの保温

植えた後1ヶ月程度でハウスの屋根のビニールをはり、株元にマルチ(ビニールでベッドを覆う)をします。



株元にマルチをした状況

5 いちごの花が咲く

10月中旬から下旬に花が咲いてくるので、ハウス内にミツバチを放し、受粉作業の仕事をしてもらいます。

※いちご生産の工夫のミツバチの紹介も参考にしてください。



いちごの花にとまるミツバチ

6 いちごを収穫する

11月から12月は開花後30日ぐらいで赤く色づき収穫となります。収穫は11月から5月まで続きます。

収穫したいちごは、生産者や農協でパックに詰めて、段ボールやコンテナに入れて出荷され、スーパーなどの店頭にならびます。



1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

子苗をふやす

苗を育てる

植える

収穫

収穫

いちご栽培カレンダー